

令和7年度 第1回区政会議 議事録

(澤田事業調整担当)

皆様、こんばんは。

定刻になりましたのでただいまから令和7年度第1回区政会議を開催いたします。私は進行を担当いたします事業調整担当課長の澤田です。よろしくお願いいたします。失礼して着座させていただきます。

それではまず本日の出席状況でございます。大林委員、唐木委員、山東委員、丹下委員の4名の委員から所用により欠席される旨、ご連絡をいただいております。また何名かの委員様はご都合により途中から参加される予定と聞いております。なお体調不良などにより区政会議委員を辞退された方が3名いらっしゃいますので、今回から委員定数が22人に変更されております。

まだ若干お着きでない委員もいらっしゃいますので、現在、定数22人の2分の1に届いてない状況ですが、時間の都合もございましたので会議の方は進めさせていただきます。

議事に入ります前にお願いがございます。区政会議は公開が原則となっております。議事録作成のため録音させていただきます。また記録用として職員がカメラ撮影を行います。

また、今回も区政会議の運営にあたりまして、大阪公立大学の皆様にご協力いただいております。各テーブルで、後程グループ討議のご意見を発表していただく他、地域活動に係る研究の一環として、皆様の話し合いに参加させていただきますのでご了承ください。

その他、事前にお知らせさせていただいておりますが、本日区政会議後に送別会を兼ねた懇親会を予定しております。会議のスケジュールは少し慌ただしくなっておりますがご了承くださいますとともに、円滑な議事進行にご協力をお願いいたします。

それでは開会にあたりまして、三村区長からご挨拶申し上げます。

(三村区長)

皆さんこんばんは。区長の三村です。本日はお忙しい中、また暑い中このようにお集まりいただき本当にありがとうございます。また日頃より区政推進に多大なるご理解、ご協力をいただいておりますこと本当にありがとうございます。

まずは先週の日曜日ですが、西区全地域合同、一斉での防災訓練を行いました。お越

しいたいた方も多数いらっしゃるかと思います。ご協力どうもありがとうございました。今回の防災訓練は二部制で行ったのですが、第一部では今回初めて（各地域の）全避難所を立ち上げていただいて、区役所にある総合対策本部との情報連携訓練を行いました。多数の見学の方にも来ていただき、非常に有意義な訓練になったと考えております。

第二部の方は区民センターで体験型のイベントを中心に行いました。この機会に防災の大切さを感じていただける、そんな場になったと思っております。ご協力いただき本当にありがとうございました。

それから大阪・関西万博ですが、開始から2ヶ月経過し来場者も600万人を超えて非常に順調に盛り上がってきているところです。西区役所としても来場促進に向けたイベントを行う予定にしております。今皆さんのお手元のファイルに入っているリーフレットに記載のイベントを計画しております。9月7日に鞆公園のセンターコート、5000人ぐらいの観客席のあるコートですが、ここに櫓を立てて1日、みんなで楽しもうと、こういう企画です。今昔盆踊り、普通の盆踊りとあとディスコ盆踊りやDJ盆踊りに加え、世界の踊り、ベリーダンスやフラダンスなども織りまぜながらみんなで楽しもうと、こういうような企画になっています。是非皆さん、この9月7日にお越しただけただ嬉しいと思っております。そうして万博を盛り上げていきたいと思っております。

今日は委員の皆さんには区役所で作ったグッズの扇子、これPRグッズですが、お配りしております。また公立大の皆さんにはキーホルダーをお渡ししておりますので、来場促進へのご協力を是非ともよろしくお願いいたします。

それから本年度の区政会議ですが、今回が最初ということになります。

第1回目の区政会議は昨年度の区役所の取り組みに対する検証、評価をいただくことが中心となりますが、それに加えて防災について各グループで話し合っていたきたいと思っております。

従来私と副区長は4つのグループを回っていたのですが、今回は1つのテーブルに入らせていただいて議論に積極的に、お話をお伺いする方が主流になりますけど、参加させていただこうというふうに思っております。よろしくお願いいたします。

皆さんもご存じかと思うのですが、私、今年が区長4年の任期の最終の年、ということになります。着任以来、「誰もが誇りに思える西区」をめざし、そういった西区にしていくんだということで取り組んできましたが、この1年でその仕上げを行うということで一生懸命取り組んでいきたいと思っておりますので、皆様方のご協力も是非

よろしくお願いいたします。

それから私だけではなく、委員の皆様の中にも任期 2 年の 2 期目で今回が最後の方もいらっしゃいますので、このメンバーで行う区政会議は今日が最後ということになります。皆様方から活発、有意義なご意見がいただけることを楽しみにしております。今日は懇親会もありますので長丁場になりますが、十分にお話、ご議論いただけたらと思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

（澤田事業調整担当課長）

それでは本日の資料を確認させていただきます。

お手元ご確認いただけますでしょうか。

まず、会議次第がございまして、名簿、続いて

資料 1-1 令和 6 年度西区運営方針の共通様式です。

資料 1-2 が令和 6 年度西区運営方針自己評価の一覧集計表、1 枚ものです。

資料 1-3 が、委員評価シートです。

資料 2-1 といたしまして、令和 7 年度第 1 回区政会議事前意見への回答です。

資料 2-2 が避難所備蓄状況在庫一覧表。

資料 3 が、グループ討議用「西区内の防災の取り組みについて」の 1 枚ものの資料。

資料 4 が、令和 6 年度第 2 回教育会議資料。

資料 5 としまして、大阪公立大学の取り組み概要に係る 1 枚ものの資料。

最後に、資料 6 といたしまして、令和 6 年度の公立大学学生からのお礼状となっております。

以上、資料そろっておりますでしょうか。

もし不足があれば、おっしゃってください。

途中でもしお気づきの場合、お近くの職員に仰っていただければ結構ですので、よろしくお願いいたします。それではここからは川野議長に進行をお願いいたします。

（川野議長）

はい川野です。よろしくお願いいたします。

今年度から、大阪公立大学の学生が新しいメンバーに入れ替わりまた 1 から皆さまのお世話になる、ということになってございます。ご迷惑をおかけするかもしれませんがご容赦いただきますよう、よろしくお願いいたします。

さて本日は例年第 1 回の区政会議で実施いたします、前年度の区政に対する評価に加

え、防災に関するグループ討議を含めて午後7時半をめどに進めて参りたいと考えております。皆様方のご協力よろしくお願いいたします。それでは早速お手元の次第に沿って進めて参ります。

まず次第の3番目、議題の1、区政会議への評価です。

これは令和6年度運営方針にかかり、区としてどのように取り組んだのかを検証し評価いただくというものです。区役所からまず、取り組みの評価等について説明を願います。

(澤田事業調整担当課長)

では説明させていただきます。

6年度運営方針の区役所自身の評価と今後の方針につきましては、配付資料1-1に記載のとおりですので、本日は全文の読み上げは割愛させていただきます。

資料1-2、委員評価シートの集計結果についてご説明申し上げます。

令和6年度、区役所の取り組みについて本日の会議に先立って、22名の委員全員に評価いただいております。

令和6年度においては、3つの戦略で目標が未達成となっており、当該の項目については比較的多くの委員から、「あまり評価できない」、「評価できない」という評価を頂戴しています。取り組み内容の詳細等について、この3つの戦略について説明させていただきます。

表の中の網掛け部分右端に「番号」という欄があるかと思います。この番号の1番、「人と人とのつながりづくりの活動支援」の取り組みについてです。令和6年度も区役

所として各団体の活動支援に尽力したものの、目標が達成できませんでした。一方で取り組みの目標達成の基準に使用した区民アンケートは、無作為抽出した区内2千人を

対象に実施しており、区役所の取り組みが目に見えるほどの結果になかなか結びつかないというところもございます。令和7年度の運営方針のアウトカム指標は、地域活動への関心を高め、参加のきっかけづくりとなるように、「地縁型団体等の活動に係る区役所SNSの閲覧回数、3000回以上」と設定しました。地域コミュニティの活性化を図るため、地域活動の裾野の広がり努めて参ります。

次に番号8番目、「区民が区政情報によりアクセスしやすい環境整備」について説明させていただきます。西区では昨年度第1回区政会議で、広報業務についてご議論いただきました。令和6年度は、委員の皆様からいただいたご意見も踏まえ、インスタグ

ラム等のSNSを効果的に活用した情報発信に注力し、SNS等の登録者数は順調に増加しているところです。令和6年度1年間で、SNSやユーチューブ動画チャンネル登録者数が3000人以上増加と、年度当初と比較し、4割以上の大幅な増加となりました。令和6年度に実施した区民アンケートでも、SNSが、区民の意見やニーズを把握するため最も効果的な取り組みと回答されています。令和7年度の運営方針では、SNS等の登録者数の増加を取り組みの目標に設定していますが、発信する情報の質の向上にも注力することで、1度の投稿で最大2万回以上閲覧されるなど、多くの方に情報を受け取ってもらえている状況です。今後は引き続きSNSの登録数・閲覧数の増加策に取り組むとともに、情報の受け手との双方向のやりとりなどの工夫を凝らし、より区民に必要な情報が届くよう広報活動を展開して参りたいと考えております。最後に10番、「窓口での対応の向上」について説明させていただきます。西区では窓口での接遇改善のため、前年度の来庁者に対する窓口サービスの格付結果等を踏まえ、新たに「ロールプレイング」、「事後覆面調査」等を導入しています。より実践的な研修を実施した他、庁舎内の環境改善のため、木材を使って美観を図るなど、様々な改善策を実施しました。その結果、令和6年度同格付結果では前年度のポイント上回り、かつ24区の中でも上位となったのですが、区民アンケートでは目標が達成できませんでした。こちらについても先ほどと同じく、区民アンケートではなかなか結果が出づらいというところがございます。つきましては、令和7年度の運営方針のアウトカム指標は、格付調査で最高レベルである三ツ星を獲得することを設定し、引き続き窓口の対応改善に努めて参りたいと考えております。最後に全体の総括としての評価ですが、こちらは高い評価をいただいております、区役所の取り組みに対する励ましのご意見も含まれていると受け止めてございます。三村区長のもと、区役所一体となってさらなる区政の改善に努めて参ります。私の説明は以上でございます。

(川野議長)

ではただいまの説明についてご意見、ご質問などございますでしょうか。よろしいでしょうか。

では引き続いて資料2に基づき本日の区政会議開催に際して事前に委員から寄せられた意見について区役所から説明願います。

(澤田事業調整担当課長)

資料 2-1 をご覧いただけますでしょうか。令和 7 年度第 1 回区政会議の実施に際して、事前に頂戴したご意見の一覧及びその回答を記載しております。資料左側が皆様から頂戴したご意見、それに対する区役所の考え等を右側に記載しております。

今回 7 つと多くのご意見をいただきました。会議のお時間もございますので大変恐縮ですが、この場では 1 つだけご意見を抜粋し、簡単に説明させていただきます。

一番左端の項番の 4 番をご覧ください。経営課題 2 に関する質問です。

「令和 6 年度運営方針の 3 ページ目に記載の「こども相談センター」と 5 ページ目に記載の「こども家庭センター」は同じものでしょうか。また両センターは、具体的にどこで何をしているのでしょうか」というご質問です。

西区役所の回答ですが、「こども相談センター」と「こども家庭センター」は全く別の機能を持つ組織になります。「こども相談センター」は、大阪市におけるいわゆる児童相談所です。18 歳未満のこどもに関わる家庭、その他からの相談のうち専門的な知識及び技術を必要とするものについて、総合的な調査、診断・判定等に基づき、必要な助言指導や施設入所等の援助を行います。市内全域に 3 か所のセンターがあり、西区は浪速区にある中央こども相談センターの管轄になります。

「こども家庭センター」は、すべての妊産婦、子育て世帯、こどもに対し、母子保健・児童福祉の両機能が連携・協働して、切れ目のない一体的な相談支援を行うことを目的として、令和 6 年 4 月から各区保健福祉センター内に設置されました。西区におきましても、「地域保健活動担当」と「子育て支援室」が、この「こども家庭センター」の相談窓口となって運営を担っております。

以上が西区役所の回答です。恐縮ですが、お時間の関係もございます。ご紹介できなかったご意見等については、後程資料にお目通しいただければと存じます。資料 2-1 の説明は以上でございます。

また事前のご意見として、避難所の備蓄物資の一覧を見たいというご意見がございましたので、ご参考として資料 2-2 をつけております。全避難所共通の内容となっておりますので、またご参照いただければと思います。私の説明は以上です。

(川野議長)

ただいまの説明についてご質問などございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは続きまして討議を開始したいのですが、進め方については、区役所から説明をお願いします。

(澤田事業調整担当課長)

今回のグループ討議については、昨年度の第1回区政会議と同じく、これまでのグループメンバーを変更して、少し気分も変えて、各グループで同じテーマについて討議していただくかたちとさせていただきます。また同じ部屋で一斉に議論を始めると、どうしても周囲の声が気にかかるかと思われますので、お手数ですが前回と同じく、CグループとDグループは別の会議室に移動していただき、グループ討議終了後にこちらにお戻りいただきます。後程区役所職員がご案内いたしますので、CグループとDグループの皆様はご協力をお願いいたします。

また、テーマについては、先日の西区合同防災訓練も踏まえて「防災」とさせていただきます。防災、減災は、住民の生命や資産を守るための重要な施策分野であり、区政会議委員の皆様から様々なご意見をいただいて改善につなげたいという考えのもと、テーマとして選択させていただきました。ただ、より広範なご意見を頂戴いたしたく、グループごとに少しずつ討議内容を変えています。後程、グループ討議の内容の発表時に、討議内容の違いも含めてお聞きいただければと思います。グループ討議は各グループの西区役所の職員が司会進行をさせていただきます。

討議時間は、およそ30分程度を予定しております。また、討議時間のうち、最後の5分間の時間を頂戴し、各テーブルにおいて西区役所の職員が討議の全体的なご意見内容等を確認させていただきます。その後、大阪公立大学の皆様から各テーブルでのご意見内容を発表していただきます。グループ討議の進行方法について、何か疑問点等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。では、グループ討議に移っていただきます。

<各グループに分かれて討議>

(川野議長)

はい、よろしいでしょうか。

今日は少し時間が短いので、ちょっと物足りないかもしれませんが、お時間ですので、グループごとにご議論された内容についてお聞かせいただきたいと思います。

そうしましたら、まずAグループからお願いします。Aグループは、発災時における情報発信と公助ということですね。お願いします。

<A グループ報告>

(公立大学3回生)

資料3の裏側、討議テーマについて見て欲しいのですが、まず①の「発災した状況を想定して、行政機関からどのような情報が必要と感じますか」というテーマについては、避難所開設の状況と医療の情報がまず第1に欲しいということでした。いざ被災した場合にまずは自分の身の安全の確保が第1であるということを踏まえると、それから実際に被災した場合に、基本的に在宅避難をするとなった場合に、避難所が今どのような状況にあるのか、「これ以上来られるとパンクしてしまう」というような情報が欲しい、という意見がありました。

それから②の「区役所が情報発信に使用するツールは何が有効と考えますか」という問いですが、これに関してはSMS、ショートメッセージを使うのが有効ではないかという意見がありました。LINEですと、以前の具体例として、数時間程度の遅延が発生したということもありましたので、SMSが有効では、という結論になりました。しかしSMSの場合、広く市民の皆さんに一齐に通知するというのがどうしても難しくなってしまうので、多少の遅延を考慮しても、広く、周知するという意味ではLINEを使う必要があり、あらかじめこのツールだけを使用しようというような考え方は危ういという議論になりました。

それに関連してですが、防災サイレンがどうしても聞こえない地域があるということで、これを今後どうしていくかというのも課題であるという議論になりました。

最後に③の「発信する内容についての工夫」ですが、これに関してはフェイクニュースを掴まないよう、きちんとした情報を掴む必要があるという点から、正確な情報を把握している外部の信頼できる団体等から情報を得る、といった工夫が考えられるのではないかという議論になりました。

Aグループの発表は以上になります。

(川野議長)

区役所から何か補足などございますか。

(澤田事業調整担当課長)

大変要領よくまとめていただいてありがとうございます。

最後にフェイクニュース対策として、外部から情報を取る、との話については討議の中では具体的な話として男女共同参画の組織が全国的に多数存在して、日常的に信頼関係が築けているので、いざというときの情報インフラとして機能したという実績

があって、そういう形の情報収集が有効じゃないかという話になりましたので、補足だけさせていただきます。以上でございます。

(川野議長)

ありがとうございます。次にBグループからお願いします。

<B グループ報告>

(公立大学3回生)

Bグループの議論のテーマは「自助」です。テーマの、資料を見ていただきたいのですが、まず1つ目の問いが「区内の被害想定はご存じですか」ということですが、被害想定を知らないという方が多く、ハザードマップの認知度も低いことがわかりました。家庭での備えについても、食器を片付けたり、食料、水を貯めたりしているという人もいましたが、それ以上の細かい危機管理はできていないのでは、ということで、ハザードマップの認知度が低かったことも相まって、防災への意識をなかなか持てていない面がある、ということがわかりました。

議論になったのが、まず津波の心配をしているという話があったのですが、津波を免れたとしても、町の機能が低下する。その後、避難所での暮らしが行き届かなかったりという、困りごとがあることがわかりました。

さらに地域によっては古い家が多いこともあり、地震や津波の被害が拡大してしまったり、避難所のサーバーがダウンしてしまったり、そもそもSNSでの連絡が取れなくなってしまうのではないかという心配が挙がっていました。

最後の「備えをしていない家庭への効果的な啓発方法について」は、まず備えをなぜしていないのかということと考えたところ、「実感がない」、「自分が災害に見舞われるという自覚がない」ということが問題ではないかということになりました。まず被災者の声を聞く機会を設けたり、実際にどんな被害が起きるのかということをもとめたビデオを作ったり、という案が挙げられました。ただこの被害のビデオに本当にアクセスしてみしてくれる人がどれだけいるのかということが議論になり、有名人に宣伝していただいて広報を促すということなども議論にあがりました。

啓発ということで、防災グッズを配る取り組みをしている町会もあるということですが、やはり防災グッズ自体をネット販売することも多いので、できたらもっと身近なところで手に取ってみながら買える店舗などが増えると、非常に意識も高まるのではないかというご意見もいただきました。こういった取り組みを進めることで自助を促していこうという結論になりました。以上です。

(川野議長)

西区役所から補足などありますか。

(合田主幹)

きっちりと報告していただきました。1点だけ補足します。防災グッズを配る取り組みをしている町会もある、という件ですが、配付した防災グッズを見ると購入しやすいので、身近なところで購入できる店舗が増えれば、防災意識も高まるのでは、との話がありました。以上です。

(川野議長)

ありがとうございます。続いてCグループからお願いします。

<C グループ報告>

(公立大学3回生)

Cグループは「地域での日頃の備え」について、議論しました。

まず1つ目の「区内の被害想定はご存じですか」という問いで、区役所の方から、ハザードマップであったり、防災マップを見せていただいてご説明いただきました。

次に、②「お住まいの地域において何か備えをしていますか」という設問で、各自が住んでいる地域や家でどういう対策をしているのかについて意見交換を行いました。グループの中では、結構自分の家で防災バックや水、インスタント食品、そういう災害時のための備蓄をかなりしているというお話が多く、加えて大きなテントだったり携帯トイレなど、かなり細かいところまで気を配っている方が多くいました。

お住まいの地域の中では、連合内の企業から（防災のための）寄付を受けていたり、地域内で災害があったときには、地域内のどこに避難したらいいかがわかっていたり、防災公園が近くにあることもあって、防災に対する区民の意識が高いところもある、といった話がありました。

③の「地域の防災活動に参加する人を増やすにはどのような手法が考えられますか」との設問について、まず問題として地域の町会への加入率が低いということ、第一段階としての加入はしたとしても地域のイベントに参加する人が少なく、参加率も低いという問題点が挙げられました。その解決策として防災訓練を行うことが考えられるのですが、その防災訓練も住民の方に親しみを持っていただけるとか、例えばもともとあるイベントに合わせるなどの方法をとれば、親しみを持ってもっと参加率が上がるのではないかという意見が出ました。

また情報の周知という面では、マンションが多い地域などでは、そのマンションに広

告を貼るなど、もともとあるコミュニティを利用して、防災に関する情報を周知していくこともいいのではないか、という案が出ました。

④の「各地域の自主防災組織の活動」については、現在は災害時の避難所の運営が地域に任されているというお話が出ました。しかし町会にもともと加入していない人の分の備蓄などが準備されていないということで、災害が起こったときに町会に加入していない人にどのように対応するのか、現状では（未加入の人への）物資がないのですが、その現状をもっと町会加入促進として伝えるべきではないか、という意見が出ました。しかし、この点においての課題として、地域活動があまり活発でない地域の方がいらっちゃって、そのような場合にコミュニティを一からつくるのは難しいのではないかというのが、1つ課題として挙がっていました。以上になります。

（川野議長）

はい、では区役所から、追加補足あればお願いします。

（谷川保健担当課長）

ありがとうございます。本当に上手にまとめていただいていたかなと思います。

1点、町会加入など含めて新しくいらっしゃった方と昔からいらっしゃる方の中で、意識の温度差があるという話があったのですが、そういった中の1つとして（災害時の）ペットの問題というのも出ておりました。ペット等の仲間同士やママ友同士が、そういったチームで何か取り組みをを広げることも大事ではないか、というご意見が出されておりました。以上です。

（川野議長）

ありがとうございます。最後、Dグループお願いします。

<D グループ報告>

（公立大学3回生）

Dグループでは、「災害時避難所の防災力強化」について話し合いました。

まず1つ目の、「ご自分の地域の避難所の場所をご存じですか」という設問に対しては、大体皆さん知っているという回答で、小学校中学校など、近くの場所を回答されていました。また、家庭でのルールも設けることが大事だなという話も出ました。あと、津波を伴う地震かどうかに関して、第1に高いところに逃げるか、避難所に行くか、という「逃げ方の違い」も考えるべきだという話も出ました。

2つ目の「避難所で生活するにあたり問題と感ずるところは何ですか。」という設問に関する問題として、避難所での備蓄状況が出ました。具体的には、食料や飲み物、薬、トイレ、寝具などが挙げられました。それらが、行政や自衛隊などが到着するま

でもつかどうか問題と考えられます。区役所でも補充をしたり、避難所でも備蓄はあると思いますがどうしても足りなくなるので、ある程度自分で備蓄することが必要になるという意見になりました。

最後の3つ目の「自主防災組織と区役所、学校が共同運営するにあたって、課題となることは何ですか。」という設問に関しては、ペットやこども、高齢者、障がい者など配慮が必要な人のケアをどうするのかという、ことが挙げられました。

そういった配慮が必要な人々について避難の方法や、地域で対応する方がいいのではという意見が挙げられました。そのためには日頃からそれぞれの状況を知っていることが必要になります。行政としては、個別避難計画というものがあるので、それに基づいたケアの方法を模索していく必要があると、いうことになりました。以上です。

(川野議長)

区役所から補足をお願いします。

(吉岡子育て支援担当課長)

すごく綺麗にまとめていただいてありがとうございます。他のグループでも出ていましたが、結局当初数日間、やはり自主防災組織の頑張りをお願いしないといけない。そういう状況から、大きいケアが必要な方、ペットの問題ですとか色々含めまして、やはり日頃からの人間関係が大事ということになりました。結局他のグループでも出ていましたように、地域の活動、或いはその町会の加入というところがどうしても最終的にはとポイントになってくるところがあるのかなという議論になりました。以上です。

(川野議長)

ありがとうございました。非常にたくさんご意見いただきました。ただいまの各グループからの発表について、また本日の会議を通じてご質問、ご意見などございますでしょうか。よろしいですか。

今日のグループ討議の議論を整理します。最後にありましたが、やはり最初のうちは自主防災で何とかできても、そのあとですね、日頃の人間関係、顔の見える関係、そういったものを作っておくということは非常に重要だということは幾つかの共通した意見でした。グループの中で、例えばペットの仲間とか、そういうことも含めて町会への加入とこうということも非常に重要ですけども、町会以外にも顔の見える関係を作っておくということは、重要な問題として議論されたのかな、というふうに思います。

一方でハザードマップの認知度はそれほど高くなく、自分の住んでいるところの状況

について、ここに参加している方でさえあまりご存じないということは、一般の住民の方にはもっと知られてないのではと考えられます。これはちょっと課題なのかなというふうに感じました。

他にもたくさん議論がありました。例えば情報の発信ということに関して、最初の避難所の開設、或いはその現状についての情報というものをリアルな形で、もちろん医療ということも含めて、身の安全についての適切な情報、いわゆるフェイク的なニュースには流されずに正確な情報をどういうふうにして獲得するのが課題であると。LINEとかSNSであるとかいくつかツールはあるにしても、それ1つだけには頼らず複数のチャンネルを持っておく必要がある、情報のインフラですね、また外部の信頼できる団体、具体的には男女共同参画関係の団体であるとか、外のしっかりした団体のツールですね、どういうふうにして情報にアクセスするのか、信頼できる情報源ということですね、それはやはりこの時代、フェイクニュースみたいなものがすぐ流れてしまうという意味では必要だということだとは思いますが。

他にもいろんな課題がありますが時間の関係で全てをご紹介できません。区役所はこうした議論を踏まえて区政の改善に取り組んでいただきたいと思います。

まだご意見がおありかとは思いますが時間ですので、次第の4、その他として、令和6年度第2回教育会議について区役所から報告をお願いします。

(川楠教育担当課長)

教育担当課長 川楠と申します。よろしくお願いします。資料4でございます。着座で失礼いたします。西区の教育関連施策について第2回西区教育会議ご説明させていただいた内容を簡単にご報告いたします。

まず1ページです。校長経営戦略支援は区長のもう1つの立場である区教育次長として予算配分を受けております。これをどう使うかということでございまして、こどもの英語力向上支援事業、民間事業者を活用した課外学習事業、こどもの体力・運動能力向上支援事業等を実施しており、7年度も予算計上しております。

2ページでございます。こちらの網掛け部分が新規事業ですが、上から3つ続いております。「つながる・つなぐこども支援事業」ですが、後程説明いたします不登校支援事業ということで、新規で拡充して実施をしていきます。次に「外国につながる児童生徒支援事業」ということで、大阪公立大学の学生さんにご協力をいただきながら、各学校の外国につながる児童生徒、及び教職員をサポートしていくというような事業でございます。3つ目は、「生徒が考える学校活性化・夢事業」ということで、生徒さんにいろいろ改善していくことを考えていただき、それに対しての予算措置ということ

でございます。これも後程、資料をご覧ください。

3 ページでございます。こちらが区長の自由経費ということで計上させていただいております。地域の団体、「生涯学習ルーム」や「はぐくみネット」というようなところを支援していく、という事業を行っております。

4 ページでございます。「スクールカウンセラー事業」、「こどもサポートネット」、それから「学校体育施設開放事業」ということで、大阪市の局の事業でございますけれども、区長としても意見を言っているところでございます。

5 ページですが、こちら令和 6 年度の企業連携の取り組みといたしまして、1,2,3 ということで、各枠組みで包括連携協定結んでいる企業さんがありました。2 番目は、「探求読解プロジェクト」と申しまして、大阪市 24 区を 4 つのブロックに分けて、西区は第 3 教育ブロックの所属ですが、そのブロックの特徴的な取り組みということで、社会勉強としていろんなことを掘り下げて、課題を検討していくというような、生徒さんにいろいろ考えていただく取り組みにご協力をいただける企業です。3 番、学校教育関連ということで、例えば、不登校支援事業などでですね、そこで使用するよう備品・物品等のご寄附をいただきたいと、というようなことで企業さんに入っております。

6 ページでございます。こちらは九条地域の学校の再編ということで、九条東小学校を、九条南小学校及び九条北小学校に再編していくという取り組みをしてございまして、そちらの経過をまとめたものとなっております。7 ページでございますこれが当面の統合に向けたスケジュール感ということで、校舎や跡地の活用の検討でありましたり、増築等の南小学校・北小学校の工事も予定をされているところでございます。

8 ページ、九条地域の学校の活性化をするために合同の体育交流会を実施したということでもございます。今年度もこのような事業を実施していくということでございます。その次の別紙 1、2 ですが、先ほど申しました「つながる・つなぐ」こども支援事業でございまして、不登校及び不登校傾向にある生徒児童の学校内での居場所づくりとなかなかいろんな支援に結びついてない保護者さんの不安を解消するために、保護者さんからの申請に基づいて専門家による支援をしていくというような事業を拡充して実施していく予定でございます。

別紙 2 でございます。「生徒が考える学校活性化・夢事業」ということで、生徒がみずから自分の今の学校に、何かこう改善していかないといけないものがないか、いろんなことを実施、実現していきたいということを考えて、それを提案していただき、それに対して予算を措置していくというようなことでございます。生徒が考えたそうい

った案を実現することで、自己肯定感、モチベーション、愛校心の向上であったり、将来西区で活躍していく担い手の養成につなげて参りたいと思っております。駆け足でございますが資料のご説明をさせていただきました。教育会議におきましては積極的に委員の皆さんからご意見をいただいております。今年度も教育会議についてこういったご説明をさせていただきながら、教育事業を進めて参りたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

(川野議長)

ただいまの報告につきまして何かご質問ご意見はございませんでしょうか。では、そろそろお時間も参ってございますので議事報告については終了したいと存じます。ありがとうございます。

最後に1つ私から区政会議の委員の皆様にお願いがございます。本日机上に資料配付させていただいている1枚ものですが、大阪公立大学の取り組みの1つとして、いろんな地域の課題を解決するため産官学地域によるプラットフォームを構築するという試みを進める予定です。本日あまり時間がありませんので具体的にはご説明できないのですが、実は私たちの大学の同僚の1人にまさに防災の問題に関わっている者がおります。現在防災庁をつくることを内閣府はじめ議論されていますが、その設置に向けた事前準備のアドバイザー会議のメンバーでもあります。特に今日は防災に関するお話でしたが、その者は東日本大震災の後の復興支援ということにずっと関わっておりますが、やはりその復興支援ですね、そのためには今日話がありました顔のあつき合いとか、ネットワークが非常に重要だということを研究しています。実は彼の発案から、大学と地域と行政で、もうちょっと密な関係を作って、そして地域の課題について日頃から議論しておこうと、そういうようなプラットフォームを作りたいというふうに考えております。そういう意味で、いろんな問題意識をお持ちの区政会議委員の皆様から是非ご協力をいただける方を募集したいというふうに考えております。詳細は西区役所を通じて改めてお知らせすることになると思いますが、様々なテーマについて、問題意識をお持ちの方のご意見をお伺いしたいと考えています。是非ご協力をお願いいたします。

それでは、区役所に進行をお返しいたしますよろしくお願いいたします。

(澤田事業調整担当課長)

川野議長、議事進行ありがとうございます。資料6ですが昨年度この区政会議にご協力いただいた公立大学生さんのお礼状をつけております。

またご一読いただけたらと思います。

本日は活発な意見交換と議事進行にご協力いただきましてありがとうございました。
そろそろお時間が参っておりますので最後に三村区長からご挨拶申し上げます。

(三村区長)

区長の三村です。本日も長時間に渡るディスカッション、本当にありがとうございました。
私の方からもまとめるといいますか、思ったことをお話させていただきます。
今日 A グループに入らせていただきお話をお伺いし、少し議論にも参加させていただきました。
A グループは発災時の情報発信というテーマだったのですが、発災時にこどもがちょうど学校に行く途中だったらどうするんだとか、情報発信だけではなく、広い範囲で課題検討が必要だということが本当に感じられた議論だったと思っております。
そのあと各グループの発表をお伺いする中で、やはり大事なのは日頃からの人間関係、住民参加へ向けた人間関係ということだと感じました。また備えの重要性、それから情報管理、情報発信・情報受信の両方になりますが、こういった3つの観点は非常に大事だなということを改めて感じた次第です。まちの魅力は住みやすいこと、と言われますが、やはりそのベースになるのは安全安心であることだと思っています。
ただハード面の整備もそうですが、ソフト面での理解、それから、いざというときの動きをどれだけできるかというのがやはり重要であると思っています。
訓練していないことは、いざという時にはできないと思います。やはり訓練を重ねていくのが地道ながら大事なことだというふうに思っています。
引き続き我々としては訓練のご提供、そのサポート等をやらさせていただきますので、皆様方もいざというときどうするかということはやはり日々考えてもらいたいと思います。
例えば今地震が起きました、じゃあどうしますか、というようなことも積み重ねながら知見を増やしていただければというふうに思います。この後懇親会もありますので、またそこでゆっくりお話もできたら、というふうに思っております。
それから最後になりましたが、公立大学の皆さんは今回から入れ替わって、新しい3年生の皆さんが参加されるんですね。ご協力ありがとうございます。今後1年どうぞよろしく願いいたします。お礼申しあげて私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

(澤田事業調整担当課長)

長時間にわたりご意見を賜りありがとうございました。
冒頭出席状況をお伝えいたしましたが、現時点17名の参加ということで定数22名の過半数が出席されております。改めてこの会議が成立していることを申し添えます。

本日の会議の内容は西区のホームページで後日公開いたしますのでご了解願います。

次回の日程は、以前にお伝えしておりますとおり 11 月 6 日を予定しております。

また今年度は委員改選に係る公募等を予定しております。委員の募集に係る情報については改めて周知させていただきます。

今期区政会議委員の 1 期目であった皆様には、後日メールで区政会議委員の 2 期目をお引き受けいただけるかどうかご意向を確認させていただきます。是非ご継続をお願いいたします。

また近々区政会議の運営方法に関する委員アンケートを実施させていただきたいと考えております。活発な意見交換ができているかどうか、どのような課題があるのか、といったことについてお尋ねするもので、24 区共通で実施するものでございます。

7 月上旬にでもメールにてお願いいたしますので皆様ご回答をご協力お願い申し上げます。

最後にこの後懇親会があるのですが、皆様が今首にかけている名札について、この後の懇親会にも各自お持ちいただきますようお願いいたします。それではこれをもって、令和 7 年度第 1 回西区区政会議を終了いたします。

ありがとうございました。